

2016 年度 地域包括ケア全国実践研究集会

～ 全世代対応型の地域包括ケアに求められるコーディネータ力とは ～

本会は、これまで地域包括支援センターの社会福祉士の実践を中心として全国実践研究集会を開催してきましたが、今年度より地域包括ケアにおけるソーシャルワーク実践にその射程を広げて展開していきます。

国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年度を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を掲げ、全国の市区町村では、それぞれの地域の実情に応じて地域包括ケアシステムの推進に向けた施策を展開しているところです。

さらに、2015年9月17日に「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」を公表し、地域包括ケアを全世代・全対象に発展・拡大させた「新しい地域包括支援体制」の確立を目指す方針を示しています。特に、相談支援の「包括化」「統合化」の流れのなかで、コーディネータ人材としての社会福祉士の役割があらためて問われています。

そこで、本会は新たな流れを踏まえ、全国で初めてとも言える全世代対応型の地域包括ケアに求められる「コーディネータ力」をテーマとして「地域包括ケア全国実践研究集会」を開催します。

1. 開催日：2016年11月12日（土） 10：30～17：00
2. 会場：中央大学駿河台記念館 281号室（東京都千代田区神田駿河台3-11-5）
3. プログラム（予定）：

時 間	内 容
10：30～10：40	オリエンテーション、開会挨拶
10：40～11：40 行政説明（60分）	【テーマ】「これからの地域包括ケアの方向性」 【講師】厚生労働省 老健局 総務課 課長補佐 石井 義恭 氏
11：40～12：40	昼食休憩（60分）
12：40～13：40 基調講演（60分）	【テーマ】「全世代対応型の地域包括ケアに求められるコーディネータ力とは」（仮題） 【講師】藤井 博志 氏（神戸学院大学）
13：40～13：50	休憩（10分）
13：50～16：50 シンポジウム （180分） ※途中休憩あり	【テーマ】「全世代対応型の地域包括ケアに求められるコーディネータ力とは」 【コーディネーター】藤井 博志 氏（神戸学院大学） 【コメンテーター】厚生労働省 老健局 総務課 課長補佐 石井 義恭 氏 【指定発言者】中 恵美 氏（金沢市地域包括支援センターとびうめ） 【シンポジスト】 ①江良 泰成 氏（たじま家庭支援センター／神奈川） ②久津摩和弘 氏（一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET／山口） ③中島 康晴 氏（特定非営利活動法人地域の絆／広島）
16：50～17：00	閉会挨拶

4. 参加対象：地域包括支援センター職員はじめ、社会福祉協議会職員、行政職員、サービス提供事業所等の職員、その他全ての相談機関の関係者など
5. 定 員：**165名**（先着順）（FAXの場合は必着、郵便の場合は消印有効）
6. 参加費：都道府県社会福祉士会の会員 9,000円、会員以外 12,000円（資料代を含む）
7. 懇親会：参加費 5,000円（参加希望者のみ。事前申込制）
8. 申込方法：所定の申込書にて **FAX 又は 郵便** によりお申し込みください（電話申込不可）
9. 申込締切：**10月12日（水）まで（先着順）**とし、参加の可否を10月下旬までに書面にて通知します。
また、会場案内、参加費の納入方法、キャンセルの扱い等についても合わせてご案内します。
10. 研修単位：全プログラムを修了することで、新制度の「生涯研修制度独自の研修5時間」、旧制度の「共通研修課程5単位」と認められます。
11. 主 催：公益社団法人日本社会福祉士会（所管：地域包括ケア推進委員会）
12. 後 援：社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国地域包括・在宅介護支援センター協議会（調整中）一般社団法人日本介護支援専門員協会、一般社団法人日本ケアマネジメント学会
一般社団法人社会福祉士養成校協会、社会福祉法人東京都社会福祉協議会
13. 問合せ先：（公社）日本社会福祉士会 生涯研修センター 北村毅、赤沼
TEL：03-3355-6541 FAX：03-3355-6543

